

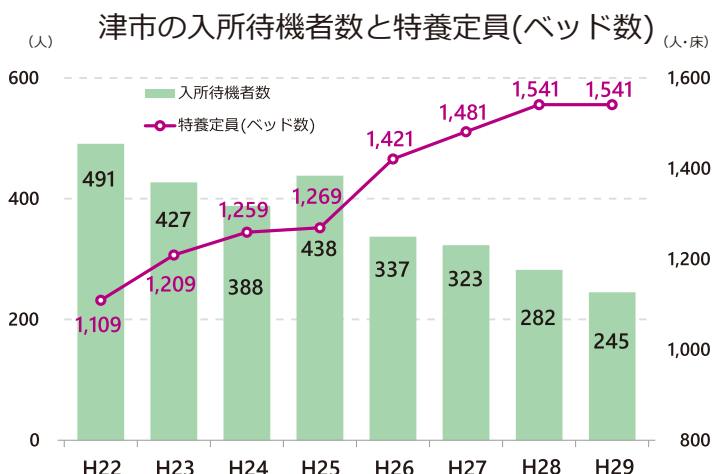
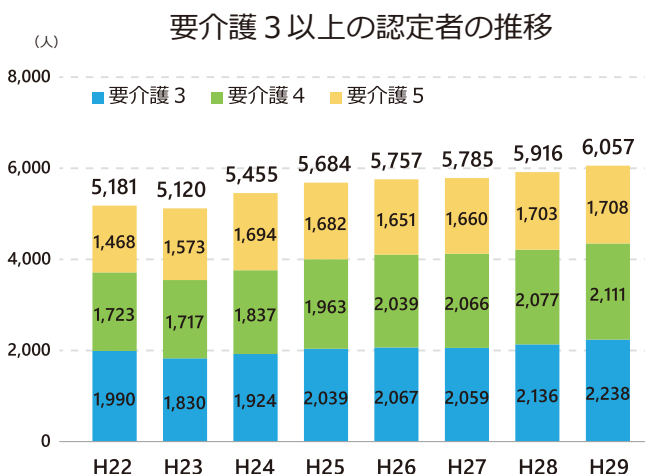
特別養護老人ホーム

待機者解消へ施設の充実と介護予防



介護保険のサービスには、訪問介護やデイサービスなどの在宅サービスと、特別養護老人ホーム（以下「特養」）などの介護保険施設に入所して受ける施設サービスがあります。津市では、特養の整備など介護保険のサービスの充実を図り、住み慣れた地域で元気に暮らし続けられるよう、介護予防事業の推進に努めています。

津市の特別養護老人ホームの施設数は 28 カ所、1,541 床



特養は、常時介護が必要で、自宅での生活が困難になった原則要介護3以上の人が申し込むことのできる施設です。食事や入浴の介護など常時日常生活の世話をしてもらえる施設として人気が高く、申し込みをしながら入所までの間をお待ちいただき、入所待機者がいます。

津市では、申し込んでから少しでも早く入所できるよう、計画的に特養を整備し、平成29年9月1日現在の施設数は28カ所、特養定員(ベッド数)は1,541床となっています。

2027年75歳以上の後期高齢者は4万8,000人に

津市の今後の人口推移予想では、75歳以上の後期高齢者が年々増加し、特に団塊の世代の皆さんが75歳を迎える2025年から2年後の2027年には、75歳以上の人口が約4万8,000人となる予測をしています。

また、必要な特養のベッド数も2027年には1,900床程

度と見込まれますが、皆さんに負担していただく介護保険料の上昇を最小限にとどめるように努めなければなりません。津市では、このような点も踏まえ、第8次高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画を平成30年3月に策定しました。

1,900 床必要に！

